



# 学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和5年2月27日

第11号



「きのう転んだ子のけがは大丈夫でした！」

校長 神田 敏之

キッズパトロール隊（登下校の安全見守りの方々）から教えていただいた話です。

ある日の下校時に何人かの子どもが集まっていたので、様子を見に行ってくださいました。そこには転んだ子どもがいて、心配をして子どもたちが集まっていたようです。子どもたちは相談をして、転んだ子どもの荷物を持って先に家に行く人と、付き添って一緒に帰る人とに分かれました。そして「途中で具合が悪くなったら困るので、一緒に来てください」とキッズパトロール隊の方にお願ひしました。自宅の方へ行ったら先に行った子どもと保護者の方が待っていて無事に引き渡すことができました。

冒頭の言葉は、その翌日に世話をした子どもから聞いた言葉です。前の日に付き添ってもらった子どもの様子を報告してくれたそうです。

私はこの話を聞いて、とてもうれしく思いました。リーダー・イン・ミーの学習を通して、自分で考え判断して行動する子どもを育てていますが、今自分ができることをするだけでなく、翌日に報告をするというところまで気付いたことが素晴らしいと思ひました。日々の生活の中でこのような場面は他にもきっとあるのだろうと思ひています。子どもたちの成長を信じ、任せられるところは任せていきたいと思ひます。

キッズパトロール隊の方との懇談の中で次の点が気になるとお話をいただきました。学校でも指導をしますが、家庭でもご指導をお願いします。

- ・歩道の上を歩く。（歩道から下りない、車道に出ない）
- ・歩行者用の青信号が点滅しているときには、横断歩道をわたらない。

1、2年生で登下校中に走ったり追いかけてっこをしたりする姿が見られます。ランドセルを背負っているとバランスがとりにくく、転びやすいです。学校でも指導はしていますが、下校時は特に解放感で注意が足りなくなるようです。また、横断歩道を渡るときにも手を挙げてドライバーに分かるようにすることも大切です。

上の学年では、自転車の乗り方が課題です。飛び出し、スピードの出しすぎ、2台が並走するなどです。歩道を走る際は、歩行者優先になりますので、加害者にならないようにする声掛けも必要です。また、4月からは子どもだけではなく大人も自転車に乗る際にはヘルメット着用が努力義務になります。

子どもたちの元気なあいさつがキッズパトロール隊の方々の元気の源になっています。私たち大人も含めて、お礼の意味を込めてあいさつをしていきましょう。登下校の際以外でも会った時にあいさつをしている子どももいるそうです。うれしいですね。